令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
1	□入門シリーズ（健康管理概論） 200-01(02-02)	藤　野　善　久 五十嵐　　侑	講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 5（火）	コマ数 0 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】労働衛生３管理における健康管理の内容、特に健康診断（一般健診、特殊健診）の法令や指針の目的、実施時期、疾患の推移による対策の変遷を理解し、予防の概念と健康管理の方策を整理できる。 【概要】労働衛生３管理における健康管理の内容は、健康診断、疾病管理、保健指導、健康教育、衛生教育、職場巡視、健康の保持増進（ＴＨＰ）がある。この講義では特に健康診断（一般健診、特殊健診）の法令や指針を紹介し、その目的、実施時期、疾患の推移による対策の変遷について詳しく解説する。予防の概念と健康管理の方策を整理する。	
2	□放射線業務に関する健康管理 200-02(02-02)	岡　崎　龍　史	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	1/27（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】放射線の基本事項、放射線量とその影響について習得する。被ばく作業現場における放射線障害について理解し、具体的な放射線防護教育や防護施策の立案ができる。また、病院産業医として、医師や看護師の職業被ばく管理ができる。 【概要】放射線関連の事業所は約7千あり、そのうち民間企業は約3千存在する。労働者に対しては、労働安全衛生法電離放射線障害防止規則（電離則）に定められている。令和4年から水晶体の線量限度が改正された。特殊健康診断は年2回行う。福島原発事故後、100ｍＳｖ未満の線量に被ばくする労働者は増え続け、医療現場における放射線防護の課題が残る。産業医は放射線の正しい知識を持ち、放射線を不適当に怖がらず、放射線の管理を行う必要がある。今回、放射線の基本、人体への影響、放射線障害例、放射線管理、法令、放射線リスクコミュニケーション等について説明する。	
3	□非電離放射線の健康影響とその管理 200-03(02-02)	岡　崎　龍　史	講義 産業医実務研修センター 50名	1/27（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】非電離放射線の種類、生態影響、対処方法、基準やガイドラインについて述べることができる。 【概要】非電離放射線は、電離や励起を起こさない電磁波で、紫外線、赤外線、超音波、マイクロ波、レーザー波等である。労働基準法施行規則第三十五条において、これらによる疾病については療養補償の対象となる。これらが発生する作業現場、生体への影響、対処法および基準やガイドラインについて説明する。	
4	□熱中症予防対策 200-04(02-02)	永　野　千　景	講義 産業医実務研修センター 50名	1/12（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】暑熱環境における労働者の熱中症を適切に予防することができるようになる。 【概要】熱中症は、熱傷を除く暑熱による健康障害の総称であり、熱虚脱、熱けいれん、熱射病などが含まれる。日本の労働災害統計においては、熱中症による死亡者が建設業などを中心に毎年２０人前後発生しており、重要な課題となっている。本講義では、熱中症の発生に関係する温熱生理、職場における温熱環境の指標と基準、実施可能な労働衛生対策について紹介する。また、産業医活動における熱中症予防対策の要点と課題について検討する。	

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
5	□化学物質の危険性・有害性と健康影響 200-06(02-02)	上　野　　晋	講義 産業医実務研修センター 50名	1/13（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】化学物質がもたらす健康障害を理解し、これを防止するための三管理（作業環境管理、作業管理、健康管理）について、新たな化学物質規制（自律的管理）を踏まえて実践することができる。 【概要】産業現場で使用されている化学物質は70,000種類を超えるといわれている。今後施行される新たな化学物資規制に基づく化学物質の自律的管理について概説するとともに、その基本となるSDS（安全データシート）を利用した、化学物質の危険性と有害性に関する情報の収集とその解釈および三管理（作業環境管理、作業管理、健康管理）への応用について説明する。さらに化学物質の人体への侵入経路と有害性の発現機序、急性曝露あるいは慢性曝露による健康障害についての基本的な知識から代表的な曝露事例とその対応策を概説する。	
6	□有機溶剤対策の実際 200-07(02-02)	五十嵐　　侑	講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 5（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】有機溶剤取り扱い作業場の写真を見て、講義資料や各種資料を参考にして、必要な対策を３つ以上挙げられる。 【概要】有機溶剤は、製造業や建設現場などで広く一般的に使用されている化学物質であるが、管理や使用の方法を誤ると、健康障害を引き起こすほか、急性中毒事故によって死者が出る事も稀ではない。本講座では、有機溶剤の管理における法的な根拠や必要な対応、有機溶剤の性質や人体への影響、有機溶剤の管理方法や健康障害の予防策などを理解する。また、有機溶剤の有害性に関する情報を自力で収集・評価し、産業医として適切な助言・指導が出来ることを目的とする。	
7	□有機溶剤特殊健診の模擬判定実習 200-08(02-02)	五十嵐　　侑	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 5（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 実地 1.5	【到達目標】有機溶剤特殊健診結果を見て、講義資料や各種資料を参考にして：①判定を付け、その理由を述べられる、②さらに収集したい情報を２つ以上挙げられる。 【概要】産業の現場には、人体に何らかの悪影響を及ぼし得る化学物質が多数存在する。これらの有害物質や有害業務による健康影響を予防することは、産業保健活動上の優先度が高く、多くの企業において３管理の観点から対策が実施されている。健康管理の面から実施されている事のひとつに特殊健康診断があり、当該要因による健康影響の確認がなされているが、その実施は言うまでもなく、判定や事後措置までが適切になされることが重要となる。判定や事後措置は産業医にとって重要な職務であるが、業務起因性や関連性の評価も行い、適切な判断をすることが求められる。本講義では有機溶剤健康診断の教材を用いて実習を行う事で理解を深め、特殊健康診断の評価方法や留意点について学ぶことを目的とする。	
8	□電子タバコ・加熱式タバコの健康影響 200-09(02-02)	姜　　英	講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 8（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】産業医として電子タバコ・加熱式タバコを含む企業の喫煙対策の企画・立案、従業員に対する禁煙指導を行うことができるようになる。 【概要】喫煙は予防可能な最大の健康阻害要因である。健康増進法の改正（2020年4月1日全面施行）により，事業者だけでなく国民全てにおいて「望まない受動喫煙」を防止するための取り組みが，マナーからルールへと変わった（義務化された）。一方で，近年国内では加熱式タバコをはじめとする新しいタバコ製品が広く普及してきており，これらについては長期的な疫学研究による健康影響については未だ十分明確になっていないとして，健康増進法改正においては緩和された経過措置が取られている。WHOタバコ規制枠組条約等関連する規制の動向を含めタバコ規制と健康影響について理解することを目的とする。	

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
9	□生物因子のリスクアセスメント 200-10(02-02)	齋　藤　光　正	講義 産業医実務研修センター 50名	2/25（木）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①職場の感染症対策の目的を理解し、感染症関連法規、感染症成立の３要因（病原体、感染経路、宿主）と対策、また労働衛生の５管理の観点からの感染症対策について述べることができる。②生物的リスク因子のリスクアセスメントについて述べることができる。③国内の職場において注意すべき主な感染症について、それぞれの特徴と職場での対策のポイントを述べることができる。 【概要】職場における生物的リスク因子は微生物によっておきる感染症である。労働基準法施行規則第３５条に「使用者が療養の費用を負担しなければならない業務上疾病」として、細菌・ウイルス等による感染症がある。新型インフルエンザ（経気道感染）やノロウイルス感染症（経口感染）のようなヒトからヒトへ伝播する感染症が労働現場に持ち込まれ、集団発生すると事業継続が困難になる恐れがある。一方、レジオネラ肺炎のようにヒトからヒトへは伝播しないが、人工水等のエアロゾル吸入で集団発生した場合は、水周りの管理責任は事業者に問われる。事業所における感染症対策は、法令遵守の目的以外に、安全配慮義務、企業の社会的責任、事業継続計画の観点からも行わなければならない。本講座では、事業所における感染症関連の法令、感染症成立の３要因（病原体、感染経路、宿主）と対策、また労働衛生の５管理の観点からの感染症対策について理解を深める。	
10	□情報機器作業の健康管理 200-11(02-02)	永　田　竜　朗	講義 産業医実務研修センター 50名	2/25（木）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】情報機器作業に関連する眼科的知識を習得する。 【概要】ハードウェア・ソフトウェア双方の技術革新により、職場におけるIT化はますます進行しており、情報機器作業を行う労働者の範囲はより広くなり、作業形態はより多様化している。情報機器を使って作業を行う労働者の健康を守るため、令和元年7月に「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」が策定された。これにより、平成14年4月に発出された「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン」は廃止されることになった。 本講ではガイドラインの変更点について説明し、情報機器作業による労働者の心身の負担を軽くし、支障なく働けるようにするため、事業者が講ずべき措置、特に健康管理について解説する。	
11	□上肢障害の評価と対策 200-12(02-02)	筒　井　隆　夫	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	2/ 4（木）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】基本的な上肢障害の診断と対応ができる。 【概要】上肢障害は、ライン作業などの繰り返し作業、ＶＤＴ作業などの長時間の同一姿勢などで起きる、頸から肩、上肢の筋骨格系障害である。上肢障害の疾患概念と診断方法、その対策について、自動車組立工場における事例を提示しながら講義を進める。	
12	□職場における腰痛対策 200-13(02-02)	武　田　　俊	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	2/19（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】腰痛健診をはじめとした職場における腰痛対策を理解し、様々な現場での腰痛対策に生かすことができる。 【概要】業務上疾病（休業４日以上）における災害性腰痛の発生件数は年間約６，０００件に達し、業務上負傷疾病の約８割を占めている。そのため「職場における腰痛予防対策指針」が策定され、行政指導（通達）に基づく特殊健診として、腰痛健診が重量物取り扱い作業者等に実施されている。本講義では、腰痛健診の法的位置づけ、健診の対象業務、ならびに健診の体系を概説し、実際の健診結果票を元に症状や所見のポイントを解説する。また腰痛対策全般において腰痛健診はその一部に過ぎず、むしろ作業管理および健診からの事後措置が重要である。腰痛の最近の知見・実際の作業場所の事例および裁判例などを紹介し、腰痛に対しては総合的な対策が重要であることを理解する。	

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
13	□海外派遣労働者の健康管理 200-14(02-02)	清　水　少　一	講義 産業医実務研修センター 50名	1/22（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】海外派遣に伴う労働衛生上の諸課題を理解し、産業医としてその解決や予防に必要な対応の実践や指導を行うことができる。 【概要】労働者の海外派遣に伴う健康問題は、生活習慣病、メンタルヘルス、感染症に大別される。 それらの概要および派遣前教育を含めた予防方法、利用可能なリソースについて解説すると共に、法に規定される海外派遣前後の健康診断の概要とその結果の解釈および実際の運用についても概説する。 また派遣中に実際に発生し得る健康問題への対処について、事例を踏まえ検討する。	
14	□在宅勤務者の健康管理 200-17(02-02)	大 河 原　　眞	講義 産業医実務研修センター 50名	2/16（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①在宅勤務に関する近年の潮流と科学的知見について理解し、説明できる。②在宅勤務の健康影響に関わる要因及び生じ得るリスクについて説明できる。③企業において在宅勤務を導入する際に注意すべき点について説明できる。 【概要】在宅勤務をめぐるこれまでの社会的潮流について概説する。 また、COVID-19流行をきっかけに急激に普及した在宅勤務について、近年の科学的知見を整理し、紹介する。 在宅勤務の健康影響を修飾する種々の要因とその結果生じる影響について全体像を捉えながら、在宅勤務の特徴や特有のリスク、企業において在宅勤務を導入する際に注意すべき点について法的・科学的観点から解説する。	
15	□ロービジョン者の健康管理と両立支援 200-18(02-02)	村　上　美　紀	講義 産業医実務研修センター 50名	1/20（水）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】眼疾患による見えにくさを有する従業員への就業上の助言・指導・援助ができ、職場環境を含めた対応ができる。 【概要】眼疾患で見えにくくなった（ロービジョン）場合、その状態で、日常生活や仕事をし続けなければならない。患者さんが持っている視機能を最大限に活用しＱＯＬ向上を目指すロービジョンケアが仕事の場でも役立ち、職場の環境整備にも応用できる。本講習では眼科でのロービジョンリハビリテーションについて講義をし、眼科主治医への書類の記載などを実習する。	
16	■外国人労働者の健康管理 200-19(02-02)	内　野　文　吾	講義 遠隔講義 50名	2/ 2（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】外国人労働者の就労をめぐる問題を理解し、産業保健管理上の要点を説明できる。 【概要】近年、日本で就労する外国人は増加の一途をたどっており、2024年10月末現在での外国人労働者数は約230万人で、コロナ禍により一時増加率に陰りはみられたものの、12年連続での過去最高数の更新、かつ二桁の伸びが続いている。労働力の不足が深刻な課題となりつつある経済状況を背景に、今後もこの傾向は続くと予想される。 外国人労働者の増加に伴い、外国人が産業保健活動の対象となる機会も多くなっている。産業保健スタッフは国籍に関わらずサービス提供を期待されているが、実務上は多くの課題が存在する。 本講義では、まず日本における外国人労働者の現状と実態について整理し、就労そのものに課題があることを述べる。次に、当社での経験をもとに、事例を交え産業保健上の課題と取り組みについて紹介し、産業医の役割と心得ておきたい事項をまとめていく。	

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
17	□健康診断・事後措置 200-20(02-02)	田　口　要　人	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	1/14（木）	コマ数 2 医師会認定単位区分 実地 3	【到達目標】１．講義資料を見ながら小テストにすべて回答できる。２．模擬事例10件の就業判定を行うことができる。 【概要】産業医による健康診断結果判定は、個々の項目についての検査値のみを評価するのではなく、職域周辺の情報（経年的データの推移、自他覚症状、業務歴・作業態様、生活歴・家族歴などの情報）も含めて総合的に行う。それらの結果が事後措置にも反映される。本講義では、一般健康診断における結果判定の意義や産業医が踏まえるべき留意点を学び、更には判定から事後措置までの概論と模擬事例の判定を行うことを通して、健康診断結果判定の考え方を理解することを目的とする。	
18	■特殊健康診断の実際 200-21(02-02)	坂　本　史　彦	講義 遠隔講義 50名	2/25（木）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】作業ごとの特殊健康診断の必要性について説明できる。 【概要】事業場における特殊健康診断の実施については、各企業によって実施方法は様々です。法的に行わなくてはならない特殊健康診断は一定の基準で決まっています。企業によっては、企業グループ内に労働衛生機関を持ち、定期健康診断や特殊健康診断を実施することにより、健康診断の実施や判定の精度を高める工夫をしている企業も存在します。このカリキュラムでは、特殊健康診断が法的に必要な場合、法定外でも医学的に必要な場合など、様々なシチュエーションにも応用できるような内容となっており、実際の作業現場において産業医として特殊健康診断の必要性について判断できるようになるきっかけとなる講義を目標としています。また、診察方法の手技についても実習を行ってまいります。	
19	□がん検診について産業医に有用な知識 200-22(02-02)	伊　藤　ゆ　り	講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 7（木）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】産業医として有効性の評価されたがん検診を正しく実施する知識を身につける 【概要】科学的根拠に基づいて有効性が評価されたがん検診を正しく実施するために、必要な基礎知識を紹介する。がん検診の有効性評価における研究デザイン、評価指標、各種バイアスについて、整理した上で、現在厚生労働省により推奨されているがん検診ガイドラインについてまとめる。がん検診を正しく実施する上で不可欠となる精度管理についても感度・特異度、発見率、要精検率、精検受診率などの評価指標について理解する。また、職域におけるがん検診における現状と課題について、概観するとともに、産業医として職域のがん検診にどう取り組んでいくかについて議論する場としたい。	
20	□健康診断における保健指導の実際 200-23(02-02)	中　谷　淳　子	参加型講義 産業医実務研修センター 20名	2/24（水）	コマ数 2 医師会認定単位区分 実地 3	【到達目標】 ①職場で行う各種健康診断後の保健指導の目的を理解し、説明できる②保健指導の目的に応じた情報収集およびアセスメントの要点を理解し、説明できる③行動変容を促す保健指導に必要な知識・技術の全体像を理解する④保健指導の実施にあたり、対象者と信頼関係を築くためのコミュニケーションのポイントを理解し一部実践できる⑤健康診断後の一般的な保健指導の流れを体験する 【概要】産業保健活動の重要な業務の一つに健康診断があります。健康診断の目的は、その結果を踏まえて安全配慮義務、自己保健義務を果たすことであり、事後措置が重要です。健診の事後措置として産業医には就業判定という重要な役割がありますが、労働者本人に対する保健指導も必要になります。本講義では、健康診断結果に基づく保健指導について概説し、実習で健康診断後の一般的な保健指導の流れを体験し、対象者と信頼関係を築くコミュニケーションのポイントを学びます。	【抽選】　余裕があれば学外者受講可

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
21	□禁煙指導の実際 200-24(02-02)	西　田　千　夏	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 1（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 実地 1.5	【到達目標】心理的依存に対する喫煙者のステージに合わせた指導とニコチン依存に対する代替医療を説明できる。実習を通してプロチャスカの行動変容の理論に基づく禁煙指導を習得し、実施できる。 【概要】本講義では、プロチャスカの行動変容の理論に基づく効果的な禁煙指導とニコチン補助薬とその特徴について概説する。また、実習を通して効果的な禁煙指導を習得する。実習内容は、心理的依存に対する喫煙者のステージに合わせた指導方法と身体的依存によるニコチン依存に対して使用するニコチン補助薬の説明方法について習得するものである。	
22	□健康づくりのための身体活動・運動ガイド２０２３に基づく健康増進活動の企画・立案 200-25(02-02)	姜　　英	参加型講義 産業医実務研修センター 24名	2/19（金）	コマ数 2 医師会認定単位区分 実地 3	【到達目標】個人及び職場における健康の保持・増進対策を企画・立案できる。 【概要】メタボリックシンドロームに関連する定期健康診断の有所見率は増加の一途をたどっている。これらの所見は生活習慣を見直すことによって改善が期待できる。労働安全衛生法第69条では、「事業者は、労働者に対する健康教育及び健康相談その他労働者の健康の保持増進を図るため必要な措置を継続的かつ計画的に講ずるように努めなければならない」とされており、その企画・立案をするための基本を理解することは重要である。本講義では、グループディスカッションを行い、①個人の肥満解消のための運動処方、食生活の指導内容について、②仮想事業場における定期健診の集計結果をもとに、職場における問題点を検討し、施設や設備等の職場環境を考慮しながら、問題点を解決するための具体的な対策について、健康増進の観点から企画・立案を行う。さらに、グループごとに発表を行うことで議論を深める。これらの作業を通して、産業保健活動における健康の保持・増進対策の進め方について学ぶことを目的とする。	【抽選】　余裕があれば学外者受講可
23	□職場における喫煙対策 200-26(02-02)	姜　　英	講義 産業医実務研修センター 50名	2/12（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】安全衛生委員会等で喫煙対策の必要性を解説できる。 【概要】労働安全衛生行政における喫煙対策の変遷、労働衛生の３管理としての喫煙対策について解説をおこなう。 ・作業環境管理、快適職場：喫煙室では受動喫煙の防止は不可能であること、建物内～敷地内全面禁煙による受動喫煙と三次喫煙の防止の必要性 ・健康管理：禁煙治療への誘導方法 ・作業管理：勤務中の喫煙禁止による作業密度の公平性 安全衛生委員会で説明すべき内容（能動喫煙と受動喫煙による健康障害の大きさ、「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約(2005年)」に基づく世界の喫煙対策の流れ）、「改正健康増進法(2018年)」「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン（2019年）」を根拠として推進する職場の喫煙対策、その喫煙率の低減効果などのメリットについて解説する。 http://www.tobacco-control.jp/	
24	□職場における転倒防止のための体力づくり 200-27(02-02)	財　津　将　嘉	講義　演習 産業医実務研修センター 30名	1/ 6（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 実地 1.5	【到達目標】データ分析に基づき職場における転倒防止策を立案することできる。 【概要】職場における転倒災害は、労働災害死傷者の原因第１位を続けている。そこで本演習では、公開されている労働者死傷病報告全件データ1年分（14万件、20MB）を各自ダウンロードして転倒災害に関する基本的な疫学分析を行い、現状のエビデンスを作成する。次に、受講者を小グループに分けて転倒等リスク評価セルフチェックを実践し分析を行う。データ解析で使用する統計ソフト、ノートPC等は各自で用意し、基本的な操作は予習してくること。講義でのデモンストレーションは統計ソフトのSTATAを使用する。	【抽選】　余裕があれば学外者受講可。／データ解析で使用する統計ソフト、ノートＰＣ等は各自で用意。種類は問わない。

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
25	□メタボリックシンドロームと運動指導 200-28(02-02)	道　下　竜　馬	講義 産業医実務研修センター 50名	1/18（月）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】メタボリックシンドロームの概念を理解し、生活習慣病の予防や改善のための運動処方の作成・指導ができるようになる。 【概要】近年、わが国において、生活習慣病対策が重要な課題となっている。生活習慣病を予防するためには、食事や休養のあり方はもとより継続して運動を実施することが重要である。運動指導を実施する際にもその指導スキルは重要であり、運動だけではなく日常生活での身体活動量を増やすことから始めていくなどの工夫も必要となる。生活習慣病の予備群としてのメタボリックシンドロームの解説とともに、今後さらに産業保健活動を行っていく上で必要になっていくであろうヘルスプロモーションに関する知識やスキルについて解説していく。	
26	□ヘルスリテラシーと健康教育 200-29(02-02)	江　口　泰　正	講義 産業医実務研修センター 50名	2/26（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】ヘルスリテラシーの概念やその向上のための支援法について説明できる。 【概要】「良好な健康状態の維持増進のために必要となる情報やサービスにアクセスし、理解し、評価し、活用できるようにする知識や能力（Nutbeam 2021）」と言える「ヘルスリテラシー」が近年、医療や保健、教育等の分野で注目されてきている。厚生労働省が2015年に発表した「保健医療2035」の中でも、ヘルスリテラシー向上の必要性が謳われ、また健康経営優良法人の認定要件の例としても盛り込まれている。ヘルスリテラシーが不十分だと様々な健康課題が増加し、また高めていくことで人々の豊かな生活へ結びつけていくことが可能となる。しかしながら、医療や保健の専門家といえども、ヘルスリテラシーについてよく理解している人はまだ十分とは言えない。本講義では、ヘルスリテラシーの定義や要素分類、評価法について、そしてこれを高めるための健康教育やヘルスプロモーションとの関連等について学習する。	
27	■睡眠と労働衛生 200-30(01-01)	加　藤　憲　忠	講義 遠隔講義 50名	2/ 5（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】産業医の面接で役立つ睡眠医療の問診力と対応力を身に着けること 【概要】現在、職域では「メンタルヘルス不調」、「過重労働」、「自動車事故」等が重要な課題となっている。これらは企業の本来の目的である「労働」と密接に関連し、人事労務管理・安全管理の問題が混在していることも多いため、医師として何をすべきか迷うことも多い。 これらの問題に対して、医師である産業医が「現実的」且つ「有効」なアプローチをするためには、これらの課題と密接に関連し、且つ、扱いやすい「睡眠」に焦点を当てた対策を行うことが有用である。これらの対策は、プライマリ・ケアの外来を受診した勤労者世代の診療にも役立つ。 今回の研修では、「睡眠」とくに、「不眠」、「睡眠不足」、「睡眠時無呼吸症候群」に焦点を当てて、外来診療や産業医の面接に役立つ知識をお伝えしたい。	
28	■産業医に必要な睡眠学 200-31	新　島　邦　行	講義 遠隔講義 50名		コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】労働者の睡眠障害を理解し、職場や本人からの相談に対応できる。 【概要】睡眠（休養）は、運動・食事（栄養）と並ぶ、健康維持・増進のための３大要素の一つである。近年、睡眠に関するさまざまな研究から、睡眠不足や睡眠障害の健康や仕事への影響が明らかにされてきた。労働者の健康管理において、交替勤務者の睡眠障害、過重労働に伴う睡眠不足、睡眠時無呼吸症候群のような睡眠障害を生じる疾患への対応などが重視されている。当講座では、労働者の睡眠問題への対応を理解していただくことを目標とし、「睡眠医学の基礎」と「労働者の健康管理における睡眠の重要性と睡眠障害への対応」について解説する。	

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
29	□治療と仕事の両立支援 200-32(02-02)	永　田　昌　子	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	2/18（木）	コマ数 2 医師会認定単位区分 実地 3	【到達目標】治療と仕事の両立支援が求められる背景を理解し、就業上の措置に関する産業医の視点を理解することができる。 【概要】病気に対する企業の対応は健康状態と職業上のマッチングを検討する職務適正の判断を行うことが一般的であった。しかしながら、超高齢社会に突入した我が国においては病気などの多少の働きにくさを持った労働者であっても本人を治療を受けながらも仕事ができる環境を支援することは産業医にとって重要なスキルになりつつある。本実習においては理論的背景とともに産業医の在り方について受講者とともに議論する。	
30	□脳血管疾患に対する両立支援 200-33(02-02)	松　嶋　康　之	講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 9（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①脳血管疾患に罹患した従業員の適正配置と両立支援の方法を説明できる。②両立支援にあたって、脳血管疾患に対する留意事項を説明できる。 【概要】障害者の社会参加・就労は重要なリハビリテーションの目標であり、ノーマライゼーションの理念を具現化するものである。わが国の障害者施策は、障害者雇用促進法に基づいて進められており、最近の改正により新たな段階に移行した。身体障害者の就労状況は増加傾向にあるが、障害者の重度化・高齢化、非正規雇用などの労働態様の変化、急激な医療環境の変化の影響を受けている。特に、脳血管疾患を有する中途障害者の職場復帰には多くの要因を考慮する必要があり、医療サイドと産業保健サイドとの調整による適正配置と両立支援が必要である。本講義においては、厚労省が公表した「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」における脳血管疾患に対する留意事項等について概説する。	
31	□産業医のための循環器講義 200-34(02-02)	河　野　律　子	講義 産業医実務研修センター 50名	3/10（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】 ①意識消失発作や失神患者の診療や原因など特徴を知り、適切な専門医につなげることが出来る。 ②失神患者の治療について知る。 ③失神患者・不整脈発作を持つ患者の自動車運転制限について知る。 ④失神患者の職場復帰時の問題点について知る。 【概要】失神は国内において、年間80万人近くに発生していると予測されており、生涯に4人に1人は経験すると報告されている。就労世代での発症も多く、運転や仕事の継続への判断が必要となることも多い。実際に、職場の産業医から失神患者の就労に対する問い合わせもある。失神患者には、道路交通法で定められた運転制限もあり知っておくべきである。失神の原因として最も多い、神経反射性失神は、ストレスが関与していることも多く、交代勤務や長時間労働により発症し得る。生命予後が最も悪い心原性失神は、原因究明が困難であったが、植込み型ループ式心電計によって早期診断が可能となり、失神診療は大幅に進歩している。当院は、全国でも珍しく失神診療を得意としており、最新のガイドラインも交えた失神診療について説明する。意識消失発作や湿疹を訴える労働者に対し、産業医が適切な医療機関受診勧奨、就業適正判断を行うための知識を解説する。	
32	□産業医学と呼吸器疾患 200-35(02-02)	松　永　崇　史	講義 産業医実務研修センター 50名	1/13（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】呼吸器疾患について産業医学的見地から評価できる。 【概要】呼吸器は外界との接触の場として皮膚などとともに有害物質にばく露されやすい臓器である。歴史的にも産業医学の父と呼ばれる16世紀のイタリアのパドヴァ大学ベルナルディーノ・ラマツィーニの著書である「働く人々の病」の中でも、非常に多くの職業と関連した呼吸器疾患が記載されており、古くから職業・労働環境と呼吸器疾患の関係は認識されてきた。現在でもじん肺などを代表に職業性喘息や肺癌、悪性胸膜中皮腫などがあり、職歴や職場環境の正確な把握は呼吸器疾患の正確な診断には非常に重要な要素の一つである。 本講義では、外界と最も密に接する内臓器である呼吸器という側面から産業医学や環境との関連について具体例を挙げながら概説する。	

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
33	□妊産婦や婦人科疾患に対する職場対応 200-36(02-02)	金　城　泰　幸	講義 産業医実務研修センター 50名	1/12（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】①働く女性の健康管理の必要性を理解する。②女性のライフステージに応じた健康障害を理解し、職域における対応方法を学ぶ。 【概要】女性就労率の上昇のため、働く女性の健康障害や妊娠出産に出会う機会が増えています。今回、妊娠出産に関わる問題や女性のライフステージに応じた健康障害について講義します。また母健カード等のコミュニケーションツールの紹介、健康診断や人間ドッグから得られる情報と婦人科疾患との関連についても触れる予定です。	
34	■職業性皮膚障害 200-37(02-02)	礒　田　英　華	講義 遠隔講義 50名	1/18（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】化学物質による皮膚疾患のリスクを理解し、その有害性を労働者に対し教育することができる。 【概要】職業性皮膚障害は多岐に渡り、その頻度も高い。接触皮膚炎から皮膚癌まで、実際の臨床症例を提示しながら、作業環境との関連について解説する。	
35	□有害業務による歯科異常と生活習慣病としての歯科疾患 200-38(02-02)	上　田　大　佑	講義 産業医実務研修センター 50名	1/ 6（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】有害業務による歯科異常と労働者の口腔衛生について理解する。 【概要】有害業務による歯科異常について概説するとともに、歯周病など生活習慣病としての歯科疾患について学習する。次の３点に講義の重点を置く。１．歯牙酸蝕症の病態と診断、２．ウ蝕の成因と予防、３．歯周病の成因と予防	
36	□職場で問題になる感染性疾患の健診、感染対策 200-39(02-02)	鈴　木　克　典	参加型講義 産業医実務研修センター 50名	2/16（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】職場で問題となる感染症疾患について理解する。 【概要】事業所における感染症発症は、我々が推進している産業安全衛生活動の現場に於いて想定される大きな危機の１つである。世界に目を向ければ、結核は３大感染症の１つであるし、国内においても、ＨＩＶ感染症の蔓延に有効な対策がなされていない現状や、海外労働者の流入などによって、労働現場における結核発症のリスクは増大していると言わざるを得ない。どんなに十分な感染症対策を行っていても結核をはじめとした感染性疾患はある一定の確率で発生する。発生した感染症の２次感染を予防し、労働現場の生産性を落とさないということが産業医学に課せられた使命の１つであると考える。この中でも、感染症を発症した労働者の周囲の労働者の発症リスクを考え、トリアージを行う必要があり、保健所など関係機関との連携を深めていかなければならない、まさに産業医の「腕の見せ所」である。本講義では、実際の感染症発症の事案を検証することによって、産業安全衛生活動の現場における感染性疾患の位置づけ、アウトブレイク対応などを学ぶことを目的とする。	

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
37	■第三次産業の産業保健 200-40(02-02)	河　津　雄一郎	講義 遠隔講義 50名	1/13（水）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】第三次産業の産業保健の特徴について理解し、実務に対応できる 【講義概要】労働安全衛生関連法規は第二次産業の終身雇用の正規雇用労働者を主な対象と想定しており、第三次産業ではその実情に合わせた産業保健の提供をしなければならない。そこで、労働集約型産業、小規模分散型事業場、非正規雇用労働者等の第三次産業の特徴について説明し、第三次産業の中でも多くの就業者を占める小売業における実務の事例について紹介する。	
38	□積極的傾聴法 200-41(02-02)	真　船　浩　介	学内実習 産業医実務研修センター 25名	2/ 9（火）	コマ数 2 医師会認定単位区分 実地 3	【到達目標】積極的傾聴に関するラインケア研修が企画できる。 【概要】「労働者の心の健康の保持増進のための指針」において推進されている「ラインによるケア」では、相談対応が管理監督者の役割の一つとして位置づけられ、話の聴き方や情報提供及び助言の方法等、管理監督者を対象とした相談対応のための教育研修も重視されている。代表的な研修内容の一つである積極的傾聴法を職域に幅広く定着させるには、産業保健スタッフが自ら指導できることが望ましい。本講義は、積極的傾聴法の目的を概説し、発見的体験学習法による実習を行い、管理監督者教育として指導する際のポイントや実践例を紹介する。	【抽選】　余裕があれば学外者受講可
39	□職業性ストレスの評価法とストレスチェックの実際 200-42(02-02)	真　船　浩　介	講義 産業医実務研修センター 50名	1/22（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】職業性ストレスモデルに基づくストレスチェックの実施方法及び事後措置を説明できる。 【概要】職業性ストレスの主要な理論モデルに基づく評価方法を紹介し，ストレスチェック制度（心理的な負担の程度を把握するための検査）の実施方法と留意点を解説する。また，労働者個人及び職場集団を対象としたストレスチェックの事後措置を概説する。	
40	□精神障害の労災問題 200-43(02-02)	廣　　尚　典	講義 産業医実務研修センター 50名	2/19（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】精神障害の労災認定に関して、労災補償制度の枠組みを踏まえたうえで、認定基準の要点と産業医が担える役割を解説できる。 【概要】業務上疾病の未然防止に向けた取り組みは、産業保健活動の中核である。精神障害の労災請求件数および認定（業務上と認められた）件数はともに増加を続けており、産業医がその動向や認定に関する考え方を知っておくことは、産業保健活動の推進のために極めて重要である。本講座では、まず労災補償制度の基本的事項、特徴、留意点などを整理し、精神障害の労災認定について、最新の認定基準（令和4年発出）に沿って詳説して、精神障害の労災事例の発生やそれに係る現場での混乱を防止するために産業医ができることを考察する。	

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
41	□精神疾患と健康管理：産業医に必要な疾病理解 200-44(02-02)	小　西　勇　輝	講義 産業医実務研修センター 50名	3/ 8（月）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】 産業医として、成人期ADHDの病態や併存症への理解を深め、職場における事例性への気付きや、適切な合理的配慮・就労支援の方法を習得する。 【概要】 近年、成人の発達障害への社会的関心が高まっている。成人期ADHDの世界的有病率は約3.4%と推計されるが、うつ病や双極性障害などの気分障害が併存することで本来の障害が見過ごされている事例も少なくない。職場においては、不注意による事故や業務効率の低下（プレゼンティイズム）、対人トラブルといった「事例性」として顕在化することが多い。 本講義では、ADHDの疫学・診断基準といった基本的知識に加え、診断が難しい併存症（うつ病・双極性障害・BPD等）との鑑別ポイントについて、外来症例を交えて解説する。また、障害者法定雇用率の引き上げや合理的配慮の提供義務化などの法的背景を踏まえ、産業医として求められる職場環境調整、専門機関との連携、具体的な支援策について実践的な知識を提供する。	
42	□精神疾患と健康管理：職場不適応（パーソナリティ障害、発達障害、アルコール依存症） 200-45(02-02)	新　開　隆　弘	講義 産業医実務研修センター 50名	2/26（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】精神疾患を背景とする職場不適について総合的に対応できる。 【概要】精神疾患を背景とする職場不適について、特にパーソナリティ障害、発達障害、アルコール依存症について学ぶ。それぞれの疾患の基本概念を把握し、初期対応や専門家への紹介、主治医との連携、職場での処遇などについて、産業医として基本的な心構えを習得する。	
43	■メンタルヘルス：事業場外資源によるケア 200-46(02-02)	市　川　佳　居	講義　実習 遠隔講義 50名	2/ 3（水）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】事業場外資源の選定、品質チェック、活用方法の指示をできるようになる。 【概要】職場におけるメンタルヘルス対策において、ＥＡＰ（EmployeeAssistanceProgram＝従業員支援プログラム）の役割や取り組みについて概説する。産業医としてＥＡＰを導入する際の手順、ＥＡＰベンダーの品質管理、ＥＡＰとの連携方法、その他ＥＡＰの活用方法を、事例を入れながら解説する。	
44	□メンタルヘルス：復職支援とケーススタディ 200-47(02-02)	江　口　　尚	参加型講義 産業医実務研修センター 30名	1/26（火）	コマ数 2 医師会認定単位区分 実地 3	【到達目標】メンタルヘルス休職者の職場復帰支援の実務上の留意点について理解できる。 【概要】本講義では、職場のメンタルヘルス対策で最もトラブルになりやすい職場復帰を取り上げる。1コマ目では、「職場復帰支援の手引き」をベースに職場復帰支援の要点について、最新の判例等を交えて復習する。２コマ目では、グループワークにより事例検討を行い、職場復帰についての産業医の役割について理解を深める。職場復帰支援における産業医の役割については、正解はない。グループワークは、色々な意見に接することで、職場復帰支援における自分なりの立ち位置を考える機会とすることを目的とする。	【抽選】　余裕があれば学外者受講可

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
45	■企業内のパンデミック拡大防止の実例－問題解決における情報の重要性－ 200-49(02-02)	眞　崎　義　憲	講義 遠隔講義 50名	2/16（火）	コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】大規模感染症発生時に企業がとるべき対応について、系統的に検討し、経営陣および従業員に対して、助言・指導が出来る。 【概要】２００９年に発生した新型インフルエンザのような大規模感染症が発生した際、企業には事業の継続と業務上発生しうる従業員と顧客の感染拡大防止という、相反する二つのことを実現する必要に迫られる。このような事態に備えて事業主がＢＣＰ（事業継続計画）を策定する際、産業医は各業種に応じて、各事業場での感染拡大予防が実施できるように助言することが求められる。本講座では、種々の事業所の中でもサービス提供者および受益者の双方で感染拡大を惹起しやすい教育現場での感染拡大防止の実例を通して、問題解決における情報の重要性、とくにその収集と解析、取り扱いに関して講義を行う。	
46	■多職種連携－産業看護職との連携を中心に－ 200-51(02-02)	監　物　友　理	講義 遠隔講義 50名	1/14（木）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】産業保健における多職種連携に関する知識を習得し、現場実践における行動を理解できる。 【概要】近年、働き方改革、ダイバーシティの推進、雇用の延長、テレワーク、といった労働環境の変化により、産業医・産業保健スタッフに求められる役割も拡大している。そのため産業医のみならず、多職種で連携・協働しながら、労働者や組織における健康上の課題への取り組むことが求められている。この講義では、産業保健活動を担う各職種の強みを生かして連携強化につながるよう、特に産業看護職との連携を中心に、現場での事例を紹介しながら説明する。	
47	□皮膚吸収性物質の発がん 200-52(02-02)	上　野　　晋	講義 産業医実務研修センター 50名	2/12（金）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】経皮吸収による健康障害、特に発がんをもたらす化学物質の特性を理解し、そのような化学物質を取り扱う際の三管理（作業環境管理、作業管理、健康管理）を実践することができる。 【講義概要】2015年から2016年にかけて発覚した職域での膀胱がん集団発症は、原因物質であるオルト-トルイジンやMOCAの経皮ばく露によって生じた蓋然性が高いと結論づけられている。これを契機に、皮膚から吸収され、若しくは皮膚に侵入して、健康障害を生ずるおそれがあることが明らかな化学物質を新たに「皮膚吸収性有害物質」と定義し、不浸透性保護具の使用が義務付けられた。本講義では、皮膚吸収性有害物質に関する三管理（作業環境管理、作業管理、健康管理）を実践するための基本となる、皮膚吸収性有害物質の特性とその経皮吸収機序、ならびに発がんを含む健康障害の発症について概説する。	
48	□産業医が知っておくべき泌尿器科疾患 200-53(01-01)	柏　木　英　志	講義 産業医実務研修センター 50名	2/ 9（火）	コマ数 1 医師会認定単位区分 専門 1.5	【到達目標】産業医が知っておくべき泌尿器悪性腫瘍を把握する 【概要】泌尿器悪性腫瘍を解説する	

令和08年度　　健康管理部カリキュラム

NO	科目名・科目コード	講師名	方法・場所・定員	実施日	コマ/単位数	概要	備考
49	□【特別講義】放射線業務従事者の労災認定について 200-99	明　石　眞　言	講義 産業医実務研修センター 50名		コマ数 2 医師会認定単位区分 専門 3	【到達目標】放射線とその影響、またその特殊性から他の労災認定と異なる点を理解する。 【概要】放射線にはX線や中性子線等多くの線質がありその影響は線量により評価するが、線量率によっても異なる。被ばくに起因する疾病は、急性障害、慢性的被ばくによる障害、悪性新生物、退行性疾患等に類型化される。また、被ばくによる障害は特異性がなく、他の原因による疾病との識別が困難なものが多い。悪性腫瘍もその一つであり、放射線により特異的に生じる悪性腫瘍はない。悪性腫瘍の労災認定は、厚生労働省が開催する「電離放射線障害の業務上外に関する検討会」で、個別に業務起因性を検討している。検討会は放射線障害、放射線医学、放射線防護、腫瘍、疫学の専門家からなり、「原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）」の考えを基本として認定を行うが、PubMedで常に最新の文献に照らし、労災認定に当たっているのが特徴である。	
					コマ数 医師会認定単位区分		
					コマ数 医師会認定単位区分		
					コマ数 医師会認定単位区分		